IIBA®日本支部会員の皆様
IIBA日本支部法人スポンサーの皆様
IIBAよりBA情報送付ご希望の皆様

いつもIIBA日本支部の活動にご理解とご協力を頂きありがとうございます。
メールマガジン32号（藍版）をお送りいたします。
このメールマガジンは、真面目にビジネスアナリシスについて様々な情報を提供する「紅版（あかばん）」と、少しカジュアルな視点でビジネスアナリシスに関して幅広い視点で語る「藍版（あおばん）」を毎月交互に発行しています。

MENU

1. IIBA日本支部副代表理事 古川 昌幸 コラム 『米価のBA的考察』
2. IIBA日本支部理事コラム 藤重 茂 コラム『生成AIとBAがつくる未来！』
3. 日本支部からのお知らせ
4. 本部情報『BBC開催のお知らせ』
5. 新企画！連載AI小説『BA奮闘記 ～二つの羅針盤が導く未来～』
5. 編集後記

---

1. IIBA日本支部副代表理事 コラム

『米価のBA的考察』

「令和の米騒動」は、どうやら備蓄米が6月初には一部の店舗の店頭に2,000円で並ぶことになりそうである。例年からするとコメの販売価格が5kg4,000円台からモノによって5,000円を超えるとは、消費者にとっては明らかに異常事態である。これをBA的に解析してみたい。

江藤前農水大臣の時にも、備蓄米の放出を決定し、実際に備蓄米を放出した。しかし、コメの価格は下がらなかったのは何故だろう。

一つは、流通の経路（ソリューション）を全く変えること無く備蓄米を同じルートに競争入札で供給したことである。すでに新米（2024年米）は集荷されていて、新たな新米は増加しない。備蓄米分が増量されただけである。中間の業者からすれば、まだ残っていて高く販売できる新米が無くなるまで、入手した備蓄米は供給しないだろう。BA的にみれば何もチェンジしていない。これではすぐにコメの価格は下がる訳がないのである。

もう一つは、前大臣の時にコンテクストに消費者は入っていたが、ステークホルダーに消

費者は入っていただろうか。すなわちニーズは消費者ではなく、別の誰かのニーズになっていなかっただろうか。

小泉農水大臣は、ソリューションを「随意契約」に変更することで、集荷の役目を終えたJAをステークホルダーから外し、代わりに消費者をステークホルダーとした上で、そのニーズを「コメの値段を下げる」と定め、価値として「すぐに（6月中）」や「5kg2,000円」となるべく、大手小売業者に直接コメを渡すことに成功したのである。

このように時事ネタをBA的にBACCM（ビジネスアナリシス・コア・コンセプト・モデル）のフレームワークで解釈してみることで、ビジネスアナリシスをより身近なものと感じることが出来るし、思考の訓練にもなるのではないだろうか。これはBAではなく後講釈だと言われる方もいるだろうが、後講釈でも良いのである。そこにBAの面白さを感じてBAに興味を持つ人が一人でも増えれば、私は満足である。

（IIBA日本支部 副代表理事　古川 昌幸）

---

2. IIBA日本支部理事コラム（隔月理事持ち回り連載）

『生成AIとBAがつくる未来！』

※本コラムはメルマガ藍版の趣旨に則って、親しみやすいスタイルでお送りしますのでご了承ください。

いやはや、最近の生成**AI**の進化ときたら、もう目が点になりますよね！ついていくのがやっとで、「え、私、浦島太郎？」状態ですよ。でもね、ビジネスアナリスト（BA）としては、このAIさんと仲良くしないと、時代に取り残されちゃうのは間違いないでしょう。断言します。

AIと**BA**、蜜月の予感

そこで、あわてて実際のBA業務でAIを使ってみたんですが、これがもう「え、マジで？！」ってくらい使えるんです。正直、もうこれなしでは仕事が回らないって状況に陥ってます。皆さんはいかがですか？私のちょっとした「AI使い倒し」体験談、聞いてくれますか？

AIが**BA**の全フェーズを席巻？！

ご存じの通り、BAにはいくつかパターンがあるんですけど、新しいビジネスを立ち上げるとなると、だいたいこんなステップを踏みますよね。

1. 企画（イノベーションを目指す新規事業などです）
2. 選定（様ざまアイデアから効果的で実行可能なものに絞り込みます）
3. 準備（次のステップのための計画などを行います）

4. ビジネス実行環境構築（体制とかシステムとか、諸々揃えるやつです）
5. 実行（実際にビジネスを開始します）
6. 評価（結果を計画と比較し改善点を検討します）

「で、どの段階でAIが役に立つわけ？」って思いますよね？実は、なんと全フェーズで活躍してくれるんです！ 従来の「定説」では、AIが担うのはデスクワークの比較的単純な作業から～なんて漠然としたイメージがありました。ところがどっこい、一番上流の企画フェーズでさえ、とんでもない働きをしてくれることが判明したんです。

例えば、企画フェーズの初期にやるSWOT分析とか、ペルソナ設定とか、従来なら「あー、チームで1週間はかかるな…」なんて思ってた作業が、たった数時間で完了！ これにはさすがに私も二度見しましたね。まるでAIが私の脳みそをコピーして、超高速で思考してるみたいでゾッとします。（ちょっとだけね。）

良い結果は、良いスクリプトから

もちろん、AIから**良い結果（アウトプット）**を引き出すには、**良いスクリプト（インプット）**が必要なのは言うまでもありません。私の経験から言うと、ビジネスの現状とか、問題点、解決すべき課題なんかを、リアルなストーリーでAIに語りかけるのがコツです。まるで映画の脚本家になった気分で、どこまで細かく作り込むかが、AIのパフォーマンスを左右するんです。

まとめ：**AI**は**BA**の最強の相棒に？

なんだかんだ言っても、今後BAの作業の多くを生成AIに頼ることになるのは、もはや避けられない運命でしょう。これからの生成AIの進化と、それがビジネスにどう応用されていくのか、ワクワクが止まりません！もしかしたら、そのうちAIが私のコーヒーまで淹れてくれるようになる…なんて日も、来るかもしれませんね？（それはさすがにないか！）

（IIBA日本支部 理事 藤重 茂）

---

3. 日本支部からのお知らせ

3-1. PCNWでの寺嶋代表理事講演のお知らせ

PCNWが開催する「PC・ネットワークの管理・活用を考える会2025」において、IIBA日本支部代表理事の寺嶋が基調講演を行います。PCNWは次を目的として活動する団体です。「日頃から社内のシステム管理に悩みを抱えている情報システム管理者の方を対象とした**「情報収集・意見交換」の集い**であり、**「企業のIT部門の人材を成長させる」**場です。」

ご興味ある方は、こちらのリンク からお申込みください。

3-2. ECBA試験の変更について

重要なお知らせです。2025年7月21日より、ECBA試験が変更されます。

新しいECBA試験はまず英語のみで展開され、現在のバージョンの日本語版試験は2025年7月21日以降も引き続き受験可能です。

新しいバージョンの日本語版試験の開始日については、翻訳作業が完了しコンテンツの公開準備が整った時点でお知らせいたします。変更内容の詳細につきましてはIIBA本部サイトをご覧ください。

https://www.iiba.org/business-analysis-certifications/ecba/ecba-exam-update-2025-new-enhancements-and-what-you-need-to-know/

3-3. VCPC「バリューチェーンセミナー日本2025」開催のお知らせ

VCPC（バリューチェーンプロセス協議会）主催でIIBA日本支部が後援する「バリューチェーンセミナー日本2025」をご案内いたします。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

■【7/18（金）】バリューチェーンセミナー日本2025

デジタル変革が拓く未来－社会インフラを支えるトップ企業2社の挑戦－

日本最大の発電会社である株式会社JERA様と日本最大の鉄道会社である

JR東日本グループの株式会社ジェイアール東日本企画様からデジタル変革推進

のキーマンをお招きし、最新の動向についてお話しいただきます。

開催日程： 2025年7月18日（金） 13:00～17:20

会場：オンライン

参加費：無料

申込URL：https://peatix.com/event/4418510

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

（IIBA日本支部　メールマガジン編集部）

---

4. 本部情報『BBC開催のお知らせ』

4-1. **BBC (Building Business Capability)のご案内**

現地時間の6/9～6/12にかけて、アメリカのアリゾナ州フェニックスでBBC2025が開催されます。アジェンダは こちら からどうぞ。
開催まじかとなりましたが、IIBA日本支部からも3名の理事と1名の支部会員を代表として派遣します。
派遣者（理事）：塩田氏、永谷氏、加藤氏
派遣者（会員）：庄司氏

また、今年は理事の永谷氏と加藤氏の両名によるセッション「 忍者から学ぶコミュニケーション術」が予定されています。日本支部のマスコットである「くのいち 楓ちゃん」からインスパイアされた、日本人らしい高度なコミュニケーションのあり方により、新しい見方を提供するものです。

派遣者が帰国後、日本支部のイベントとして報告会を実施する予定です。お楽しみに！

4-2. 最新ブログからのお勧め

IIBA本部サイトには興味深い様々なコンテンツが掲載されています。ここでは最新のブログの内、メルマガ編集日が読んで特におすすめしたいものを選んでご紹介します。今回は、IIBA コミュニティ エンゲージメント マネージャー　Susan A. Moore 氏の「The Power of Good Questions in Business Analysis」をご紹介します。ビジネスアナリストが実施するインタビューという重要な作業がありますが、その獣王星と難しさ、それを成功させるためのヒントについて教えてくれています。この分野でお悩みをお持ちのBAのみな様ご一読されてはいかがでしょうか。

（IIBA日本支部　メールマガジン編集部）

---

5. 新企画！AI連載小説『BA奮闘記 ～二つの羅針盤が導く未来～』

今回から全6回に渡り、隔月の藍版で連載小説を掲載します。あるビジネスアナリストが自分の仕事の悩みを、ビジネスアーキテクチャという新しい視点を得ることで解決していく物語です。どうぞご期待ください。こちらのリンク からご覧ください。

（IIBA日本支部理事 藤重 茂）

---

6. 編集後記　メールマガジン編集部

メルマガ32号をお届けします。今月はちょっとカジュアルで楽しさをモットーとする藍版です。今回から新しい試みとして、AI連載小説の掲載を開始しました。いかがでしたでしょうか。よろしければ感想などお送りいただければとても嬉しいです。

6月はBBC、英国放送協会ではなくビルディング・ビジネス・ケイパビリティ(ビジネス能力の構築)という意味で、IIBAが毎年主催するグローバルなBAの集まりです。ことしも日本支部代表として数名のメンバーが参加します。また、支部メンバーによるセッションも実施されます。日本発のBAの手法に関する提案が、国際的に広がればいいですね。

次回は6月末に紅版の配信となります。BBCの簡単な参加報告などを掲載予定です。

どうぞお楽しみに！

(メールマガジン編集部　藤重 茂)

◆ご意見・ご感想等ございましたらこちらの　ABOUT US　＞　CONTACT US　からご連絡ください

https://japan.iiba.org/contact-us

◆配信停止ご希望の方へ

会員以外の方で、IIBA日本支部のイベント等にご参加いただき「情報提供希望」とされた方へも本メールを送信させていただいています。本メールマガジンの配信を希望されない場合、下記のアドレスに件名のみ記入したメールをお送りください。
宛先 secretary@japan.iiba.org
件名 unsubscribe